

〔水稻〕

1. 作付の概況

九州における平成24年度の主食用作付面積は、18万3,300haで、前年産に比べて200ha（対前年比0%）減少した。品種毎の作付状況を見ると、「ヒノヒカリ」の面積が最も多く、5年前の比で5%減少したものの、九州の作付品種の50%を占め、次は「コシヒカリ」の12%であった。一方、高温でも白未熟粒発生が少ない高温耐性品種は、面積の多い順に、「夢しずく」、「さがびより」、「元気つくし」、「にこまる」、「あきほなみ」、「くまさんの力」、「つや姫」、「おてんとそだち」で、それらの作付面積は、5年前には3%であったものが、11%となった。

2. 作柄の概況

九州における平成24年産水稻の収穫量は、89万5,700tで、前年より3万1,300t減少した。これは、作付面積は変わらなかったものの、収量が、作況指数97の「やや不良」（収量：489kg/10a）となったためである。県別の作況指数では、宮崎は95、鹿児島は96、佐賀と熊本は97、福岡と長崎、大分は98と、九州各県とも「やや不良」であり、沖縄では86の「不良」となった。

3. 生育の概況

1) 普通期水稻

田植え時期は、平年並みであったが、田植期以降の日照不足により初期生育が抑制されたため、茎数が少なく経過し、佐賀、熊本、大分、宮崎及び鹿児島では、全もみ数が「やや少なく」なった。出穂期以降は、長崎では、台風16号の強風による潮風害及び倒伏等により登熟は「やや不良」となった他は、おおむね天候に恵まれたこともあり、登熟は「平年並み」ないし「やや良」となった。この結果収量は、収量不足の影響を大きく受けて、全県とも減収となった。玄米品質は、1等米比率が九州全体で48%と、台風被害年を除いたこの10年間ではほぼ平年並みであったが、全国平均の79%を大きく下回った。出穂後20日間に当たる8月下旬から9月中旬の平均気温が、平年より九州北部では0.8℃、南部では0.2℃高かったことも影響したと思われる。

2) 早期水稻

主産県の作柄は、宮崎県が作況指数98（収量：471kg/10a）、鹿児島県が96（同：425kg/10a）で、ともに「やや不良」であった。これは、3月下旬から4月上旬の低温及び日照不足、出穂前の日照不足等の影響から全もみ数が少なかったためである。登熟は、7月中旬以降おおむね天候に恵まれたため良好で、1等米比率も宮崎では69%と高かったが、鹿児島では31%と低く、これは台風10号による倒伏や、一部では高温障害による乳白・心白粒発生によるものであった。一方、沖縄県では、第1期作は、生育初期に気温の低い時期があり、登熟期の日照時間もやや少なく、作況指数97のやや不良であった。一方、8月に移植して11月に収穫する第2期作では、度重なる台風の直撃（15、16、17号）により、全域で壊滅的

な被害を受け、作況指数54の著しい不良となった。

4. 被害の概況

九州の水稲の被害率は14.6%と、平年を2.2ポイント上回った。被害種類別に見ると、気象被害は平年を1.6ポイント上回り、日照不足と局地的な豪雨による水害も発生した。また、いもち病及びウンカによる坪枯れ等の被害が認められ、病虫害も、0.3ポイント平年を上回った。

2012年産水稻の収穫量

区分	作付 面積	10 a 当た り	収穫量	作況 指数	前年との比較					
					作付面積		10a当たり収量		収穫量	
					対差	対比	対差	対比	対差	対比
(ha)	(kg)	(t)		(ha)	(%)	(kg)	(%)	(t)	(%)	
九州計	183,300	489	895,700	97	△ 200	100	△ 16	97	△ 31300	97
福岡	38,500	490	188,700	98	△ 200	99	△ 13	97	△ 6,000	97
佐賀	26,600	509	135,400	97	0	100	△ 22	96	△ 5,800	96
長崎	13,700	468	64,100	98	0	100	△ 18	96	△ 2,500	96
熊本	38,100	501	190,900	97	200	101	△ 18	97	△ 5,800	97
大分	23,600	491	115,900	98	100	100	△ 8	98	△ 1,400	99
宮崎	19,100	473	90,300	95	100	101	△ 16	97	△ 2,600	97
鹿児島	23,800	464	110,400	96	△ 300	99	△ 24	95	△ 7,200	94
沖縄	919	267	2,450	86	△ 2	100	△ 10	97	△ 90	96

注) 資料：平成24年産水陸稲の収穫量 (2013. 2. 07, 農林水産省)
△は減少を示す。